

被災地に 心にする大切食料

品質に問題がないにもかかわらず、消費・賞味期限が近づいているとして廃棄される食料などを企業から譲り受け、福祉団体などに届けているNPO法人「フードバンク関西」（芦屋市）が、東日本大震災の被災地に送る食品や物資を募っている。4月初旬にも2回目の発送を行う予定で、同法人事務局の浅葉めぐみさんは「行政とは違った立場から、最も困っている被災者たちに届けたい」としている。

（切貫滋巨）

芦屋のNPO法人 物資募集

同法人は地震直後の14日から支援物資を募集。大阪の菓子製造会社から焼き菓子約180ケースの提供があり、東京の団体を通じて被災地に届けた。

個人やこれまで付き合いのなかった企業から支援物資が次々と送られてきているといい、次回はボランティアが4トトラックで直接被災地に届けるという。

募集しているのは、粉ミルク▽みそ▽総菜の缶詰▽野菜ジュース▽レトルト食品―で、いずれも常温保存可能で賞味期限まで半年の

などミルク粉 超半年まで賞味期限

余裕があるもの。新品未開封の外傷用の薬類やばんそうこう、下着、靴下も受け付ける。配送に約20万円かかるといい、カンパも募っている。

支援物資は直接持ち込みか、宅配便で。〒659-0051 芦屋市呉川町1の15。受け付けは平日午前10時～午後3時、土曜午前10時～午後1時。カンパは、郵便振替口座 00940-4-221867 特定非営利活動法人フードバンク関西まで。同法人 ☎0797-34-8330



「災害時の支援受け入れ窓口の役割を果たしたい」と話す浅葉めぐみさん＝芦屋市呉川町